

## 令和7年度 学校関係者評価委員による学校評価アンケート

評価基準	4	3	2	1
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない

	項 目	評 価
1	本校では、実態に即した教育目標を設定し、その目標達成のための教育活動を実践している。	3. 7
2	本校では、普通科、文理探究科の教育目標達成のために、それぞれ特色ある教育課程を編制し、実践されている。	3. 7
3	本校では、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	3. 3
4	本校では、日頃からいじめの早期発見・未然防止に取り組んでいる。	3. 7
5	本校では、悩みを抱えている生徒の支援（個別面談、悩み相談など）に努めている。	3. 7
6	本校では、指導力向上のための研修や進路情報収集を積極的に行い、生徒一人ひとりの自己実現に向けての進路指導がよくなされている。	3. 7
7	本校では、生徒会活動や特色ある学校行事を通して、次世代を担うリーダーの育成に努めている。	3. 3
8	本校では、Classi やホームページによる情報発信や学校だより等を通して、開かれた学校づくりを積極的に行っている。	4. 0
9	本校では、可能な限り他の教育機関と連携した教育活動を実践し、成果をあげている。（探究学習・高大連携・大学講師招聘講座等）	3. 7
10	本校では、PTAと連携をとりながら、積極的に保護者の要望や意見を取り入れている。	3. 3

### 外部評価委員指導助言（記述）

○各教科の学習はもちろん、部活動や学校行事、社会貢献活動など学校内外で生徒の皆さんがそれぞれの活動に熱心に取り組まれ活躍されていることを頼もしく思います。よき北陽台らしさが引き継がれるとともに、新たな取組や改革が進められ、外部人材・資源の活用等も加わり、生徒一人一人の高校生活の充実につながっていることが学校評価の高評価からもうかがえます。今後もさらに「自学・創造」のチャレンジが幅広く展開されていくことを期待しています。

○学校の取組にあたっては、評議員会で述べたとおり、とても良いと評価しております。アンケート評価については、私ども外部評価者は、アンケート項目にあるような取組を日頃見ないため、評議員会資料に記載されていないような部分に対しては、取組内容をお教えいただければ評価しやすいと思われました。

○45分授業の導入や教員ミーティングの充実など、教職員の働き方改革に積極的に取り組まれている点が大変印象的でした。また、文理探究科においては大学や海外との連携強化を通じて、生徒が多様な経験や価値観に触れられる環境づくりが進められており、学校教育が着実に進化していることを実感しました。

企業では一般的に従業員満足度向上（ES）がお客様サービスの質向上につながると言われています。教員の皆様が意欲的に力を発揮できる環境づくりが、生徒一人ひとりの成長にも良い影響をもたらすことを期待しています。校内のつながりを柔軟に広げていくことで、その効果は高まるのではないかと感じています。

また、少子化や公立高校の統廃合など、これからの教育環境が変化する中で、貴校ならではの特色や強みをより一層発信していくことも重要です。人間力の育成や社会で求められる力の涵養において、これまで以上に学外との連携強化も一つの可能性だと思います。卒業生や地域、企業等が柔軟に関わることで、生徒にとって新たな学びや視点を提供できる機会が広がることを願っております。